

## 【近年の主な活動】

### ○ 平成28年度

- ・熊本地震調査報告会を主催
- ・鳥取県中部の地震調査報告会を主催
- ・鳥取県中部ボランティアセンター支援のため学生を派遣
- ・とっとり防災フェスタへの出展
- ・第10回ITS地域交流会in山陰地方の共催
- ・鳥取県の受託事業として「山間集落実態調査」を実施
- ・SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術の受託を支援

### ○ 平成29年度

- ・鳥取県中部地震ボランティア派遣で県より感謝状授与
- ・九州・中国・四国地域防災情報交換会(徳島)への参加
- ・とっとり防災フェスタへの出展
- ・SIPシンポジウム「近未来の社会を支えるインフラ維持管理技術の最前線」を主催
- ・SIP「効率的な維持管理システム開発および路面振動探査中間報告会」を主催
- ・研究集会「地域に自然エネルギー利活用を根付かせるために」を開催
- ・道路維持管理セミエキスパート養成研修を試行



# 鳥取大学 工学部 附属 地域安全工学センター

工学のチカラで、将来にわたり安心して暮らせる地域を創造する

所在地:〒680-0824 鳥取市湖山町南4-101  
鳥取大学工学部大学院棟2階  
連絡先:センター長 香川敬生  
電話:0857-31-5641  
FAX:0857-31-6097  
メール:kagawa@tottori-u.ac.jp

地域安全工学センター センター長

大学院工学研究科 教授 香川 敬生

社会基盤工学専攻 博士(理学)・技術士(応用理学)・防災士



## 【センターの概要】

地域安全工学センターは、頻発する自然災害に対する安全・安心の確保と、過疎化が進む地域の持続的発展を図ることを目的として、平成24年4月に設置されました。「工学のチカラで、将来にわたり安心して暮らせる地域を創造する」をテーマに、工学研究者がそれぞれの強みを活かして連携し、過疎化・高齢化が進んだ社会の利便性を先端技術で確保しつつ持続的に自立し、災害の仕組みを理解して備えることで、安心して暮らせる地域を創造することを目指して、様々な課題に取り組んでいます。

## 【プロジェクト】

- 地(知)の拠点大学による地方創生事業  
(産官学による地方創生に向けた取り組み)
- とっとり防災・危機管理研究会(県、防災関係機関との連携)
- SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」による「多層的な診断による地方自治体のインフラ維持管理システムの開発」

の各プロジェクトを実施・支援しています。また、工学部附属クロス情報科学研究中心とも連携し、地域安全に関わる情報システム研究も実施しています。これらその他にも、2016年鳥取県中部の地震など災害への対応(緊急調査、ボランティア派遣)、自然エネルギーへの対応、出前講義や研修会など地域の安全安心に資する活動を積極的に実施しています。



## 【地域安全教育】

### ○出前講義

地域の小中高や公民館などにメンバーが出向き、防災や地域づくりに関する授業、講演会をおこなっています。

また、学生とともに地域の可能性を探求するなどのフィールド実践的な活動も展開しています。

### ○研修会

自治体の防災リーダー養成研修にメンバーが講師として参加するとともに、鳥取県自主防災活動アドバイザーに多くのメンバーが登録し、講師として派遣されています。また、新規に採用された自治体の職員に対する研修(市町村等新規採用職員フォロー研修)の講師を派遣しており、「これから地域政策」と題した講義にて今後の地域社会の動向や運営戦略の方向性を考えていただく機会を提供しています。

### ○展示

鳥取県主催のとっとり防災フェスタなどの防災イベントで模型やパネルの展示をおこなっています。

### ○公開授業講座

地球科学、地震工学など関連する講義を一般参加可の「公開授業講座」として実施しています。

### ○教員免許更新講習

(公社)日本地震学会の活動の一環として、「地震のしくみを知ろう・教えよう」を毎年開講しています。



鳥取大学広報誌「風紋」のNo.54(2017 Summer)に地域安全工学センターが、No.55(2017 Autumn)にSIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術受託研究がそれぞれ特集されています。

<https://www.tottori-u.ac.jp/fumon/>

